

【期間・件数限定】レジャー白書 追跡調査のご案内

～特定の余暇活動をより深く知る～

公益財団法人日本生産性本部 余暇創研

レジャー白書 追跡調査とは・・・「レジャー白書」作成のための調査(スポーツ、趣味・創作、娯楽、観光・行楽など全107種についてのウェブによる調査)の後、1～2か月(1月～2月)の間に、同じ回答者に対して新たな設問で行う調査です。この「追跡調査」には、次のようなメリットがあります。

レジャー白書追跡調査のメリット

①同年の「レジャー白書調査」における100以上の種目との関係がみえる

レジャー白書に掲載されている全107種目(2014年実績)の調査結果と合わせて分析することが可能です。
例)「映画」を観る頻度の増減について質問し、減少している人が他にどのような余暇活動を始めているのかを調べる。

②過去(5年程度)の「レジャー白書調査」の知見を基に設定した仮説の検証ができる

「レジャー白書調査」では、年ごとに異なるトピックについての調査も実施しており、それにより得られた知見をもとに仮説の抽出、質問文の作成を行うことができます。
例)「遊園地」で静かに過ごしたい大人向けの施設を拡充すれば、利用を開始・再開する人が増えるかどうかを調べる。

③分析では「レジャー白書調査」のデータを流用できるため、費用を抑えられる

未婚・既婚、家族の人数など回答者の特性を把握するための質問を改めて設定する必要がないため、設問数や調査費用を抑えることができます。

④同じ調査を継続する場合は、2年目以降さらに費用を低減できる

余暇活動のトレンドを把握するためには、同じ内容の調査を継続することが求められます。その際、レジャー白書追跡調査を利用すれば、調査画面の作成費用などを節約できるため、さらに費用を抑えることができます。

⑤「レジャー白書」やその関連事業で培った有識者とのネットワークを活用できる

調査実施の際には、必要性やご要望に応じて、現在までに「レジャー白書」やその関連事業で培った有識者とのネットワークを活用できます(ただし、条件や日程の問題で有識者の協力を得られない場合もあります)。
例)レジャー白書執筆・協力者の調査結果についての解釈・まとめを報告書に反映させる。

レジャー白書追跡調査の概要

※調査時期は、「レジャー白書調査」との関係で基本的に2月を予定。

2月前半までに
「事前準備」

2月末までに
「調査実施」

3月を目途に
「納品物の送付」

■事前打ち合わせ

■費用の見積もり

例1)10設問、回収3,000件で150万円～

例2)5設問、回収2,000件で100万円～

■調査項目の作成

■調査(WEB)画面作成

■回答者の選出、回答の依頼・収集

■データファイルの作成

■データの(クロス)集計

例)性・年代別、職業別、お小遣金額別

■簡易報告書の作成

例)クロス集計3種、種目間関係分析3種

■調査データ・集計表(Excel)、簡易報告書(PDF)等の納品物の送付

【調査項目の例】「●●」を始めたきっかけ／「●●」の楽しさのレベル／来年「●●」に参加する可能性／「●●」参加の可能性や頻度を高める要素・要因／「●●」の代わりとなる余暇活動／周囲に勧めたい余暇活動

※「●●」には、特定の種目が入ります。ご要望に応じて具体的な設問の例をご提供いたします。

調査の詳細やお見積りなどについては下記の担当までお問い合わせ下さい

余暇創研(公益財団法人日本生産性本部内) 担当: 志村、高橋

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1 生産性ビル6階

TEL: 03-3409-1125 FAX: 03-3409-1187 E-mail: yoka@jpc-net.jp HP: <http://www.jpc-net.jp/leisure>